

2019年1月10日

新時代を切り拓くブロックチェーン社会に関するシンポジウム

— 「三方良し（学生、企業、社会）の実現」に向けて —

【現状分析】

【学生】ブロックチェーン含め IT 業界の人气が高まり、新技術に対して、興味のある学生も多い。ブロックチェーン関連のイベントなども多く開かれており、そこに多数の学生が参加している。

【企業】ブロックチェーン業界に参入して、イノベーションを起こそうとする大手企業や、新しくブロックチェーンビジネスを開始するベンチャー企業が多い。だが、IT 人材の不足で、悩まされている側面も大きい。

【社会】仮想通貨をはじめ、ブロックチェーンをもとにした技術への関心は高まっている。ただ、他のサービスへのブロックチェーンの応用はまだあまり進んでおらず、そこを加速していく必要がある。

【そこから浮かび上がる問題点と課題】

文化背景などさまざまな側面からブロックチェーン技術について学ぶ機会が少なく、応用に結びつかないことが課題だと考えます。

そのため、ブロックチェーンとその先進国・エストニアの歴史との関係や、従来の暗号技術との関係などについて学ぶことが必要です。

【シンポジウムの内容】

様々な視点(ブロックチェーン先進国の歴史的観点、暗号学的観点、実用的観点など)からブロックチェーンについての知識と今後を考えます。

【シンポジウムおよび交流会参加による効果】

学生にとっては多角的に応用可能な知識を獲得できます。企業様にとっては優秀な学生とコネクションを生みだせます。社会にとっては、ブロックチェーン業界に興味がある学生、その業界の最先端で働いている方、各業界で変革を求めている方とのコネクション、コミュニティができることで新たなものが生み出されます。

【プログラム概要】

日時：2019年5月17日(金) 16:00 受付開始 16:30 主催者挨拶

16:35～16:55 基調報告 ＊東京大学理学部情報科学科3年生

17:00～19:00 シンポジウム(質疑応答含む)

19:20～20:20 交流会 20:30 終了

・会場：最終検討中

・登壇者 5 名 (ゲスト) 現在検討中

Mr A (自動車部品メーカー社長) : モデレーター (進行役)。

Mr B (名古屋大学名誉教授) : 前段階としてブロックチェーン先進国の歴史について。

Mr C (九州大学教授を予定) : ブロックチェーンと暗号の関係性について。

Mr D (慶応義塾大学 4 年) : 自身の体験やこの分野に興味を持ったきっかけなど。

Mr E (ブロックチェーンに関わる企業人) : ブロックチェーンと AI などの関係性について。

【参加者定員】 80～100名

【料金】 シンポジウムのみ参加、交流会も参加一律)

- ① 大学生 2,160 円 (税込)
- ② 社会人 3,240 円 (税込)
- ③ 高校生 無料 *保護者同意書が必要です。

以 上